

ビジョン

- 主に難治・慢性疾患の子どもを対象とした医療・保健・療育・福祉サービスの県の中核機関として、高度で良質な医療・ケアの包括的なサービスを提供し、政策医療を推進します。
- 地域の医療、保健、療育、福祉、教育機関との機能分担・連携を図り、全体的な在宅医療の支援を積極的に行います。
- 子どもから大人まで切れ目ない医療が提供できる全県的なシステムの構築をめざします。
- 小児の医療、保健、療育、福祉に携わる専門家の育成、学生教育への協力および臨床研究を通じて、県内の小児保健医療の発展と向上に貢献します。

区分	シナリオ	戦略的目標	主な成果	主なアクションプラン	業績評価指標	H29年度実績	H30年度実績	R1年度実績	R2年度当初目標値	R2年度実績見込	R3年度目標値
医療の質の充実 (顧客の視点の充実)	<p>診療体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 難治・慢性疾患児への質の高い医療サービス・全県型医療の提供 政策医療の提供 子どもから大人まで切れ目ない医療提供システムの構築 <p>在宅医療支援の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の医療機関等との連携強化 N I C U等の後方支援 在宅療養の支援 	患者満足度の向上	患者満足度調査結果の向上	・外来待ち時間の短縮 ・患者サービスの向上	今後も当院を受診したい人の割合	外来87% 入院95%	外来89% 入院92%	外来84% 入院95%	外来100% 入院100%	外来90% 入院91%	外来100% 入院100%
		入院治療の提供拡大	新規入院患者数の増	・新規入院患者数の増加	新規入院患者数	2134人	2518人	2447人	2745人	1689人	2805人
		慢性疾患患者の救急体制強化	慢性疾患患者の時間外受入れ体制の確保	・救急受入れのための病床管理	時間外慢性疾患患者救急受入れ応需率 (※患者受入件数/受入依頼件数)	97%	99%	98.9%	100%	99%	100%
		地域の医療機関等との連携強化	病病・病診連携の強化	<ul style="list-style-type: none"> びわ湖メディカルネットの利用登録に関する患者家族への説明および勧奨 びわ湖メディカルネットを活用した連携病院・診療所への患者情報の提供 広報紙やホームページ等を活用した広報の充実 新型コロナウイルス感染症対応支援 	紹介率	49.0%	44.9%	48.9%	50.0%	50.0%	50.0%
					逆紹介率	48.6%	48.6%	53.6%	49.0%	47.0%	49.0%
		在宅療養の支援	患者負担の軽減	・適切な診療および在院日数の設定	平均在院日数	10.3日	8.7日	9.5日	9.5日	11.0日	9.5日
経営基盤の安定化 (財務基盤の強化)	<p>経営基盤の安定化</p> <ul style="list-style-type: none"> 病床利用率の向上 財務管理の徹底 	病床利用率の向上	病床利用率の向上	・手術件数の増 ・計画的な検査・リハビリ入院の促進 ・レスパイト入院等の拡大 ・医師の確保 ・地域連携の強化 ・広報紙やホームページ等を活用した広報の充実	病床利用率	66.2%	67.2%	70.3%	78.0%	50.9%	73.0%
		財務管理の徹底	収支の改善	・診療件数の増 ・診療費の確実な収納 ・診療材料等の見直し、選定による経費削減	経常収支比率	99.9%	95.7%	95.2%	100.4%	81.0%	92.5%
病院マネジメントの向上 (内部プロセスの視点)	<p>働きやすい職場環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 職員満足度の向上 効率的な職場環境づくり 	効率的な職場環境づくり	ワークライフバランスの実現	・院内会議、研修等の時間内開催 ・適正な労務管理 ・弾力的な人員配置 ・応援体制の構築 ・業務効率化のための設備・システムの導入	職員一人あたりの時間外勤務時間数	16.5h	17.7h	19.8h	18.0h	16h	16h
		職員満足度の向上	職員の充実感・達成感の向上	・職員提案の募集および採用 ・面接の実施 ・チーム医療、多職種連携の推進	現在の仕事に充実感や達成感を感じている職員の肯定的回答率	72.6%	65.0%	71.7%	75.0%	86.2%	88.0%
学習と成長の視点 (人材の育成・意識改革の推進)	<p>専門的人材の確保・育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 専門的人材の確保 研究活動への支援 	臨床研究活動への支援	学会活動・論文発表活動の活性化	・補助数の増	論文発表数	20本	30本	20本	25本	19本	25本